



オアシス

文責：学長
桑原雅次

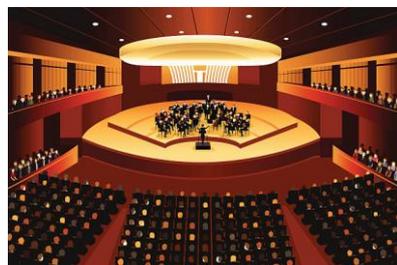
出雲芸術アカデミーだより 2025年6月16日発行 第81号

さわやかな季節は過ぎ去り、梅雨入り宣言が聞かれるようになりました。今年の梅雨は異常気象とならないように恵みの雨であってほしいと願うばかりです。

先日は、新入生歓迎会を本アカデミー音楽院ジュニア講座保護者会の主催で実施されました。今年度は33名の新入生を迎え、歓迎演奏・交流会を通して交流を深めました。また、保護者総会も開催され、本アカデミーの方針等をご理解していただける良い機会となりました。受講生と保護者、アカデミー関係者が音楽を通して、心豊かでワクワクとした日々が過ごせるよう精進していきたいものです。

IZUMOpera コーナー

● ホールへ行こう !!



現代は、スマートフォンやパソコンで気軽に音楽が聴けますが、ライブ演奏に勝るものはないものと承知しています。いくらデジタル音源が進化したとはいえ、機械的に作り出された音はどこか無機質であり本物の音とは比べ物になりません。特にクラシック音楽は、マイクを通さず生の音で届けるのが通常スタイルです。

その生音をどう響かせ心地よく聴衆の皆さんに届けるかは、古代から行われていることです。古代の野外劇場から教会音楽、現代では音響や空間設計がなされた音楽専用ホールがそれにあたりますが、クラシック音楽を堪能するには欠かせない環境と言えるでしょう…。

クラシック音楽といってもいろいろなジャンルがありますが、代表的なものにはオペラ（歌劇）、オーケストラ、合唱があります。オペラには物語があり、キャストは演じながら歌い合唱は民衆役などで登場します。音楽全般はオーケストラが担い、舞台上には美術セット、照明、出演者の衣装など「総合舞台芸術」と言われる所以がそこにあります。また、フルオーケストラの魅力は、ライブ演奏でしか味わえない、厚みのある響きや音色の重なりを感じる唯一無二の体験が出来るのではないかと思います。

前置きが長くなりました。『出雲フィルハーモニー交響楽団』～第27回定期演奏会～を7月20日（日）に出雲市民会館にて開催いたします。この公演は、交響楽とオペラが同時に堪能できるという特殊な例です。是非、ホールにお出かけいただき、音のシャワーを堪能してください。

この公演に向けて準備が着々と進んでいますが、その様子の一部を紹介します。

■ オペラ

マスカーニ作曲の歌劇《シルヴァーノ》（全2幕）を日本初演として上演します。何せ日本での公演実績がないために、当初はオーケストラ譜面が入手できず、ピアノ伴奏による公

演予定でした。しかし、中井芸術監督によるイタリア人の人脈により、オケ譜面が入手できたことは、日本初演に花を添えることとなりました。

そのオペラ公演に向けて、各講座で佳境を迎えています。本アカデミーの音楽研究院では、特別主位研究講座も開催しています。その講座には前号でもお伝えした、北九州シティオペラ芸術監督の蓮井求道氏をお迎えして、イタリア・オペラの魅力について、オペラを歌うための声づくりをレッスンやワークショップを通して伝授していただいています。蓮井先生の40代の頃の本番映像を拝聴し、心の叫びを体現している様子が学べたり、イタリア語上演ですので、イタリア語の持つ意味を懇切丁寧に教わる機会はとても参考になる機会となっています。また、ウィーンでの留學生活では、授業の時間割が示され、日本とは違い過酷なスケジュールで日々を過ごされていた経験を語っていただきました。欧州の感覚は、一度プロを意識した段階から想像以上の表現や技術を要求されるなど、レベルの違いを見せつけられたようでした。

■ フルオーケストラ

①J.シュトラウス2世作曲の喜歌劇《ジプシー男爵》入場行進曲、②A.ドヴォルジャーク作曲のチェロ協奏曲、③R.ワーグナー作曲の楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》第1幕への前奏曲の3曲を披露いたします。

この度、チェロ協奏曲で独奏する野津真亮氏が帰省され、出雲フィルとの初練習が実現しました。野津氏は松江市出身で、主に首都圏で活躍されているフリーのチェリストです。これまでも出雲フィルの公演では、度々首席チェリストとして活躍していただいています。そのような関係でオケ楽員とも顔なじみですが、今回は違いました。独奏者としての威厳がにじみ出ていました。有名な楽曲ですので、各演奏者のそれぞれの固定観念が入り乱れる中、野津氏は「自分が表現しようとする演奏についてきてほしい」と断言され、今までにない協奏曲にチャレンジしようとしている姿に感心させられました。本番ではどのようなチェロ協奏曲が出来あがるのか、今から楽しみです。

フォトギャラリー

歓迎演奏：Jr.オーケストラ



歓迎演奏：Jr.コーラス



音楽ワークショップ：
声づくり



音楽ワークショップ：
映像を使って



チェロ協奏曲



オーケストラ全体練習

